

報 道 各 位 2011.12.07 No.111201

## 【大豆イソフラボン】着床環境改善への作用を確認

~第56回日本生殖医学会で発表~

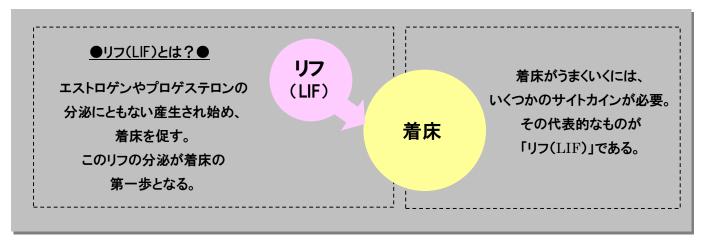
ニチモウバイオティックス株式会社(ニチモウ㈱(証券コード8091)100%子会社)は、東京医科大学産婦人科学教室(井坂惠一教授)により明らかとなった自社オリジナル素材 AglyMax® (アグリコン型イソフラボン)の着床への作用について、12月8~9日に横浜で開催される第56回日本生殖医学会で発表する。

## ■試験(in vitro)で明らかになったこと

植物性エストロゲンであるイソフラボンには、更年期症状の改善効果や<u>体外受精時の妊娠率の改善が期待できたとする報告</u>など様々な効果が話題となっている。原因不明不妊症の中で時として、着床不全が原因と疑われる例も見受けられる。そこで今回<u>イソフラボンが着床環境を改善できるか検討するため</u>に、東京医科大学産科婦人科学教室で以前より着目してきた着床関連因子 LIF への効果を検討した。

結果は、 $\underline{r}$ グリコン型イソフラボン ( $\underline{AglyMax}$ ®) は、受精卵の着床に不可欠なサイトカイン、 $\underline{LIF}$  (白血病阻害因子) の分泌を高める作用があることが確認された。

※この事実は、2008年3月に武庫川女子大学との共同研究により、「世界で初めて大豆イソフラボンの不妊治療への有効性を確認」で発表され、医療機関からも評価を得ている。さらに今回の研究で、AglyMax®の作用がより一層確実なものとなった。



## ■AglyMax®とは

大豆胚芽に多く含まれるイソフラボンを、ニチモウ独自の麹菌発酵技術(製法特許取得:3014145号(日本))によって、アグリコン型イソフラボンにして抽出した発酵大豆胚芽抽出物。**吸収性の高いイソフラボンであること、抗酸化作用が一般のイソフラボンの1000倍以上と群を抜いて高いこと、ダイゼイン比率が約70%とダイゼインリッチであること**が大きな特徴。

ニチモウバイオティックス株式会社(代表取締役社長 石井知見) <u>http://www.nichimobiotics.co.jp/</u>〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-20(天王洲郵船ビル)

連絡先: Tel: 03-3458-3510 Fax: 03-3458-4330 E-mail: nbkinfo@nichimo.co.jp